

令和6年度普及活動アルバム

北アルプス農業農村支援センター

令和6年度の春先（4月）は、平年より気温が高く推移し、大町市のりんごの開花期は平年より5日早く、生育が進む中で5月10日の低温により、りんごを中心に凍霜害が散見されました。

また、基幹作物である水稻は、夏期の高温による高温登熟障害、胴割れ粒、またカメムシ類による斑点米等の被害も散見され、作況指数は「101」（中信地区）の平年並みでしたが、1等米比率は98.5%を確保することができました。

重点活動として3年間取り組んだ課題「水田農業における大規模白ネギ栽培技術の確立による産地育成」は活動最終年度を迎え、栽培上の課題を解決するための技術検証や省力化機械の効果分析を行うとともに、白ネギ導入と規模拡大に必要となる様々な技術や情報を関係機関等と共有するなど、一定の成果を得ることができました。

今後も地域一丸となり、白ネギの産地化を推進していくこととしています。



【通年】【重点課題】

水田農業における大規模 白ネギ栽培技術の確立に よる産地育成

生産者、JA大北、JA全農長野及び市場関係者等と連携し、モデルほ場を3か所設置し、栽培技術を検証するとともに、省力化機械等の活用など、水田経営への白ネギ導入の利点や課題の情報を共有することができました。



【通年】

「農村女性セミナー」開催

農村文化に関する技の伝承と世代を超えた交流を図り、次代に繋ぐ農産物加工技術習得を目的とした、農村女性セミナーを開催しました。

西洋料理、牛乳料理、保存野菜料理の3回の講座に延べ45名の参加者があり、有意義な交流を図ることができました。



【通年】

北アルプス生食用ぶどう セミナー開講

近年、生食用ぶどう栽培に取り組む生産者が増加傾向にあり、当地域の産地化を進めるため、基本的知識と技術習得を目的としたセミナーを6回開催しました。

今後も新規生産者の確保と栽培技術の向上を支援し、産地化に向けた取組を推進します。



【6月】

アスパラガス立茎講習会

アスパラガスは北アルプス地域における野菜の重要品目であるとともに、JA 大北の推進品目として位置づけられており、関係機関と連携して生産振興が図られています。

アスパラガスの生産振興を図るため、JA アスパラガス部会による立茎講習会を開催し、現地ほ場の巡回を行いました。



【7月】

大豆「すずみのり」 採種ほ場審査、栽培講習会

安定した大豆種子の確保に向け、採種ほ場の栽培管理指導や、ほ場審査を実施しました。

採種ほ場の審査を実施する前の7月下旬には、大豆「すずみのり」の栽培講習会と現地検討会を開催し、盛夏期の栽培管理や防除技術について検討を行いました。



【7月】

**AFC と支援センターによる
新規就農者激励会開催**

地域の農業青年クラブのアルプスファーマーズクラブ (AFC) と共催で、令和6年度の新規就農者が、地域農業の担い手として活躍されるよう、先輩農業者、関係機関等による激励会を開催しました。

今後の経営発展や、大北地域の農業振興について情報交換をすることができました。



【9月】

**「桜仙峡あずき」の生産振興
(生産者ほ場巡回)**

池田町の桜仙峡あずき保存会の会員と共に、生産者のほ場を巡回し、あずきの生育状況や管理状況を確認しました。

ほ場巡回の状況を、改善事項等の資料としてまとめ、「桜仙峡あずき目揃え会」時に課題を共有し、次年度の生産振興に繋げることができました。



【9月】

**水稻の自動運転コンバイン
(有人) 実演会**

GPS 情報を利用して自動運転による収穫と、5mメッシュで玄米収量がデータとして示される、自動運転コンバインによる収穫試験を池田町で実施しました。

熟練オペレーターのような無駄な動きの無い自動操舵で、ICT 農業技術の進化を確認することができました。



【11月】

子実用トウモロコシの収穫

県内で初めて本格的に「子実用トウモロコシ」に取り組み、2年目となりました。

昨年度の栽培・試験データから作成した「子実用トウモロコシ」栽培マニュアルに基づいて試験栽培したところ、反収 615 kg の品質が高い子実用トウモロコシを収穫することができました。



【11月】

おむすびプロジェクトの実施

白馬北小学校の6年生児童（37名）は、総合学習の時間を使って、地元の青鬼地区の歴史・文化を学習するとともに、地区で栽培されている紫米や食材を活用したおむすびづくりを体験しました。

子ども達にとって地域を知る特別な体験となり、食に関する理解が更に深まりました。



【1月】

雪中キャベツの出荷目揃会の開催

小谷村では根付きのまま雪の中で2週間ほど生育させてから収穫する「雪中キャベツ」の生産振興に力を入れています。

雪中キャベツの出荷に当たり、規格や品質の統一を図るため、「信州おたり雪中キャベツ生産組合」による出荷目揃会を開催しました。